

# 楷

第七十五号

岡山大学  
附属図書館報  
OKAYAMA UNIVERSITY  
LIBRARY BULLETIN

KAI  
No.75  
2022  
OCTOBER

<写真>  
田がら  
エナガト同物異名



「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

—目 次—

- 岡山大学附属図書館小野文庫蔵『伝習録』について  
（附属図書館副館長 本村昌文） ..... p.2
- マスカット ..... p.7  
池田家文庫絵図展のお知らせ、公開講座実施報告 ほか
- 会議・研修・編集委員から ..... p.16

# 岡山大学附属図書館小野文庫蔵

## 『伝習録』について

本村 昌文

### はじめに

岡山大学附属図書館には、池田家文庫をはじめ様々な貴重資料が所蔵されている。そのなかに11の個人文庫が含まれている。本稿では、この個人文庫のうち、小野文庫に所蔵されている『伝習録』<sup>\*1</sup>という書物を紹介したい。なお、本資料については、いまだ調査中であるため、詳細な資料紹介というよりは、岡山大学附属図書館の貴重資料のもつ豊かな可能性の一端を示唆するにとどまることをお許しいただきたい。

『岡山大学所蔵 近世庶民史料目録』第3巻によれば、小野文庫とは「岡山県浅口郡玉島長尾の名家、小野氏の旧蔵であって、戦後本学の有に帰したもの」である。さらに同書では「小野氏は、櫟翁(直吉)・務(本太郎)をはじめとして、その一門には文雅の士が多かった」と述べられており、菅茶山(1748～1827)、頼山陽(1781～1832)、また国学者たちと交流があったと記されている。小野文庫には和書4,085冊、漢籍2,044冊が所蔵されており、『平家物語』をはじめ日本の古典文学で注目すべき写本があると言われている。

『伝習録』とは、中国明代の儒者である王陽明(1472～1528)の語録である。その『伝習録』に、江戸時代の儒者・三輪執斎(1669～1744)が注釈等を付して正徳2年(1712)に『標注伝習録』として刊行した。小野文庫に所蔵されている『伝習録』(目録番号「子15」)は、実はこの『標注伝習録』3冊本であり、付録の1巻が欠けている。また、目録には「原肥〔雲川〕蔵本全巻有書入」と記載されており(所蔵者の雲川原肥という人物については不明)、全巻にわたって書き込みがなされていることが示されている。

### 江戸期における陽明学と『標注伝習録』

江戸時代に入り、中国・朝鮮から朱子学や陽明学の書籍が数多く輸入され、朱子学や陽明学をもとに思想を形成する人々が登場するようになった。朱子学が江戸時代を通じて広がり学ばれたのに対し、陽明学を思索の滋養源とした人々が登場するのは時期的に限定されている。中江藤樹(1608～1648)・熊沢蕃山(1619～1691)らが活躍した17世紀前半～中葉頃、三輪執斎が朱子学から陽明学へ転向し『標注伝習録』を刊行した18世紀前半、幕府儒者として数多くの門人を集めた佐藤一斎(1772～1859)、大塩平八郎の乱を起こした大塩中斎(1793～1837)、さらに彼らに学び陽明学を信奉する人々が輩出する19世紀初頭から幕末の時期である(吉田1999)。

陽明学の基本文献である『伝習録』が日本で最初に刊行されたのは慶安3年(1650)である。このときに刊行された『伝習録』は、楊嘉猷という人物が編纂・刊行したものである(中国の万暦30年・1602刊行)。この楊嘉猷本は、黄河以北の地域における『伝習録』の流布の少なさを憂いて刊行され、『伝習録』3巻と付録1巻で構成されている。『伝習録』3巻分は隆慶6年(1572)に刊行された『王文成公全書』(王陽明の著作がほぼ網羅されたもの)の巻1～巻3の「語録」(『伝習録』)

とはぼ一致し、付録の1巻は楊嘉猷が撰輯した「陽明先生詠学詩」である(永富2007)。

三輪執斎が刊行した『標注伝習録』はこの楊嘉猷本を祖本としつつも、「陽明先生詠学詩」を削除し、かわりに「示弟子立志説」「大学問」「略年譜」が付加されている(吉田1999)。「大学問」は朱熹の『大学』解釈を批判し、王陽明自身の『大学』解釈を示した重要な書であり、「略年譜」によって王陽明の生涯を簡便な形で知ることができるようになっており、『標注伝習録』は王陽明の思想の核心とその生涯を学ぶことができる編集になっているのである。

また、『標注伝習録』の思想史的意義は、その編集の仕方だけにとどまるものではない。様々な著作をもとに施した執斎の注釈が、陽明学の思想の内実を理解する大きな手助けになったと言える。

『標注伝習録』刊行以降、陽明学を学び信奉する者、また陽明学を批判する者、いずれもが『標注伝習録』を利用し、広く流布していったのである(吉田1999)。

従来の研究では、『標注伝習録』刊行の時期は徂徠学(荻生徂徠(1666~1728)の確立した日本的な儒学思想)の興隆と軌を一にしており、「相対的に執斎門流の運動はふるわなかった」と指摘されている(吉田1999)。たしかに中江藤樹とその門流の活躍した17世紀半ば、佐藤一斎とその門流が活躍した19世紀~幕末の時期に比較すると、『標注伝習録』が刊行された18世紀前半における陽明学は見劣りするかもしれない。しかし、執斎の活躍した18世紀前半から一斎とその門流が活躍する19世紀に至る間は陽明学の展開を知る手がかりが乏しく、いわば空白の期間となっている。この空白の期間において、陽明学がいかに学ばれていたのか、また『標注伝習録』の波紋を探究する一つの素材となるのが、小野文庫所蔵『伝習録』なのである。

### 小野文庫所蔵『伝習録』について

私がこの資料に出会ったのは、岡山大学大学院社会文化科学研究科に着任した2013年のことである。本学着任後、江戸期における儒学研究に関わる新たな資料を探索し、時間のある際に附属図書館の貴重資料の目録をめくり、閲覧する日々を過ごしていた。そうした資料探しの日々のなかで、偶然出会ったのが小野文庫所蔵『伝習録』である。

先述したように小野文庫の目録には書き込みがなされていることが記されており、それを確認するために本資料を閲覧したのである。実際に閲覧すると、予想をはるかに上回る書き込



写真1 小野文庫所蔵『標注伝習録』下巻  
欄外の漢文体の部分は執斎の注。和文体の部分が書き込み。

みがなされており、私にとっては衝撃的な瞬間であった(写真1)。この書き込みが、いつ、誰によってなされたのかについては、現在も調査中であるが、その手がかりとなるのは『伝習録』下巻の最終丁に貼り付けられた5枚の紙片である(写真2)。まず2枚の紙片が貼り付けられ、その右側の紙片の上に3枚目、左側の紙片の上に4枚目、3枚目の紙片の上に5枚目の紙片が貼付されている。便宜的に、最初に貼り付けられた右側の紙片を「紙片A」、左側の紙片を「紙片B」、紙片Aの上に

貼付されたものを「紙片 C」、紙片 B の上に貼付されたものを「紙片 D」、紙片 C の上に貼付されたものを「紙片 E」として、各紙片からわかることを示していきたい。

紙片 A には「寛保元年四月十二日、渡先生開講……」と、寛保元年 (1741) に「渡先生」なる人物が講義を開始したことが記されている。紙片 B には「渡先生再講、自午之六月十四日、至十二月十日、此卷終。三講自寛保元年辛酉四月十二日、至十一月七日上卷終」と講義の時期が記されている。紙片 A の「寛保元年四月十二日」と紙片 B の「三講自寛保元年辛酉四月十二日、至十一月七日上卷終」は講義の開始時期が同じであるため、「渡先生」なる人物がこの『伝習録』上巻をもとにした講義を寛保元年 4 月 12 日～11 月 7 日に行ったと考えられる。また、紙片 B の「渡先生再講、自午之六月十四日、至十二月十日、此卷終」は「三講」の講義よりも前の時期と推測され、寛保元年以前の干支で「午」のつく年次は元文 3 年 (1738・戊午) であるため、「再講」は元文 3 年 6 月 14 日～12 月 10 日間の講義であったと推測される。

紙片 C には「丁卯十一月十四日」に下巻の講義を開講したことが記されている。「丁卯」は紙片 A・紙片 B の年代をふまえると、延享 4 年 (1747) と推測される。紙片 D には「先生四講、自延享三寅之年二月七日」とあり (延享 3 年・1746)、紙片 E には「下卷三講、寛保壬戌八月二日」とある (「寛保壬戌」は寛保 2 年 (1742))。

以上の紙片に加えて、中巻の最終丁に書かれている「伝習録卷之中 終」の下部には「丁巳五月」「丁卯九月四日」に講義が終わったこと、「己未八月二十一日」「壬戌七月四日」にも講義がなされたことを示唆する書き込みがある (虫食いのため正確に判読できない部分がある)。上記の紙片の年代をふまえると、「丁巳五月」は元文 2 年 (1737)、「丁卯九月四日」は延享 4 年 (1747)、「己未八月二十一日」は元文 4 年 (1739)、「壬戌七月四日」は寛保 2 年 (1742) と考えられる。また、下巻の最終丁に書かれている「伝習録卷之下 終」の下部にも「戊午夏四月四日」「庚申之八月四日」に講義が終わった旨を示す書き込みがあり、上記の紙片の年代をふまえると、「戊午夏四月四日」は元文 3 年 (1738)、「庚申之八月四日」は元文 5 年 (1740) と推測される。

5 枚の紙片に書かれた年月・干支と中巻・下巻の最終丁に書き込まれた年月・干支とを整理すると、およそ以下ようになる (表)。元文 2 年 (1737) 5 月に中巻の講義がなされ、それ以降、寛保 2 年 (1742) までは毎年講義が行われ、その後は 4 年のブランクを経て、延享 3 年 (1746)・延享 4 年に講義が行われた。また、中巻と下巻の講義が大半を占めていることがわかる。

講義の中心が中巻・下巻であったことは、この講義を行った人物の陽明学への関心が何処にあったかを示唆する。とくに下巻への強い関心は、下巻の表紙裏の書き込みに示されている。

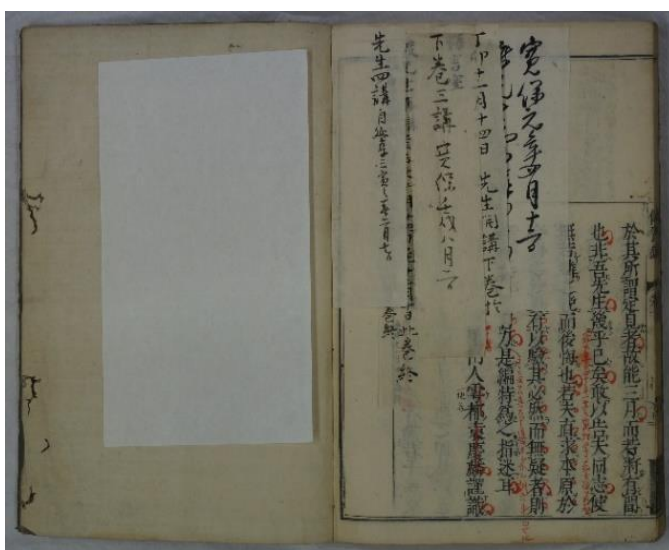


写真2 小野文庫所蔵『標注伝習録』下巻の最終丁。  
右の丁の上部に5枚の紙片が貼り付けられている。

表 小野文庫所蔵『標注伝習録』を用いてなされた講義

年	月日	内容	講義を行った人物の呼称
元文2年 (1737)	5月	中巻の講義	記載なし
元文3年 (1738)	4月4日	下巻の講義	記載なし
	6月14日～12月10日	下巻の講義	「渡先生」
元文4年 (1739)	8月21日	中巻の講義	記載なし
元文5年 (1740)	8月4日	下巻の講義	記載なし
寛保1年 (1741)	4月12日～11月7日	上巻の講義	「渡先生」
寛保2年 (1742)	7月4日	中巻の講義	記載なし
	8月2日	下巻の講義	記載なし
延享3年 (1746)	2月7日	講義を行った巻は不明	「先生」
延享4年 (1747)	9月4日	中巻の講義	記載なし
	11月14日	下巻の講義	記載なし

扱此書（『伝習録』のこと一本村注）ヲ読ムニ下冊ヨリヨミ初ル子細ハ、先輩ノヲキテニ依ルニモ非ズ。モトヨリ常々拝見スルニハ上冊ヨリ見ルヘキナレド、今聞ク人ノタメニハ下冊ヨリヨムガヨカラン。如何トナレハ初巻ハ王学ノ初メニテ、人其説ヲウケトラヌ時分故ニ、方々ヤリトリノ議論多シ。且王子モ御年ワカキ寸ナレ、イマダ其説モ熟シカ子玉フコトモアラシカ。下冊ハ五十餘ノ言ニテ、シカモ世間王学ヲソロソロウケトルモノ多クナリタレバ、朱王ノ争モウスクナレリ。今日モ王子ヲシラザル人ハ先ツ上冊ヨリモ見ルベキニヤ。

『伝習録』上巻は王陽明の思想が人々に受け入れられていない時期のものであるため、学説上の議論が多く、王陽明も年齢が若く、思想が熟していないに対し、下巻は王陽明の思想に共感する人が次第に多くなってきた時期であるので、朱子学との論争も少なく、下巻から読むべきであると述べられている。目算ではあるが、書き込みの分量も下巻がもっとも多い。

この他にも、「藤樹先生ハマダー等切り込ンデ意ノ伏蔵ト云フコトヲ示シ玉ヘリ」（上巻 72 丁）と中江藤樹の著作を読んでいたであろうことを示唆する記述、「辛巳之二月十七日三輪先生講云……」（中巻 79 丁）と「辛巳」（元禄 12 年・1701）に三輪執斎が講じた内容が記載されるなど、江戸時代の陽明学者との関わりを意識しながら講義がなされていたことをうかがわせる書き込みもある。小野文庫所蔵『伝習録』は、18 世紀半ば頃に『伝習録』（三輪執斎の編纂した『標注伝習録』）をもとに陽明学がどのように学ばれていたのかを様々な角度から考察しうる可能性をもつ資料、換言すれば、江戸時代における陽明学の空白期間に光を照射する資料といえることができる。

## おわりに

本稿で紹介した小野文庫所蔵『伝習録』について、筆者は調査中であり、未解明の部分が多い。資料紹介として十分とは言えないが、岡山大学附属図書館が所蔵する貴重資料から広がる世界を少しでも感じ取っていただけたら幸いである。池田家文庫のみならず、そのほかの貴重資料や個人文庫にも、まだ誰も気づいておらず、ひっそりと発見されるのを待つ資料が存在しているはずである。

【参考文献】

岡山大学附属図書館編『岡山大学所蔵 近世庶民史料目録』第3巻、岡山大学附属図書館、1974年  
永富青地『王守仁著作の文献学的研究』、汲古書院、2007年  
吉田公平『日本における陽明学』、ペリかん社、1999年

(もとむら・まさふみ 附属図書館 副館長)

---

\*1 『岡山大学所蔵近世庶民史料目録』では『傳習録』(子15)と記載されているが、内容は後述するように三輪執斎の編纂した『標注伝習録』である。



# マスカット

## 池田家文庫絵図展のお知らせ

池田家文庫は、江戸時代の備前岡山藩の藩政資料を中心とした約 10 万点にもものぼるコレクションで、現在は岡山大学附属図書館が保管しています。2005 年 3 月には岡山市と岡山大学の間で文化事業協力協定を結び、以後池田家文庫の特徴の一つでもある「絵図」を中心とした展覧会を毎年開催しています。

今回の展覧会では「岡山城と人々の暮らし」をテーマに展示します。岡山城の普請や修築の際の図面や、城下の行政のために作成された文書など、城とまちに関わる興味深い資料が出品されます。また、テーマにあわせて林原美術館の所蔵品も一部ご紹介いたします。

1. 名称：企画展 池田家文庫絵図展「岡山城と人々の暮らし」
2. 会期：2022年10月22日（土）～11月20日（日）（休館日を除く26日間）

〔休館日〕 毎週月曜日

〔開館時間〕 10:00～18:00（入場は17:30まで）

3. 会場：岡山シティミュージアム 5階 常設展示室  
〒700-0024 岡山市北区駅元町 15-1

4. 入館料：一般 310 円（65 歳以上、大学生以下無料）  
65 歳以上の方は年齢を確認できるもの、学生の方は学生証を提示していただきます

5. 主催：岡山大学附属図書館、岡山シティミュージアム  
共催：林原美術館

6. 関連行事：

〔開会式+オープニングトーク〕 予約申込制

日時：2022 年 10 月 22 日（土）9:20～10:00

会場：岡山シティミュージアム 5階展示室

講師：岡山大学学術研究院社会文化科学学域講師 東野将伸

〔講演会〕 予約申込制

日時：2022 年 11 月 12 日（土）14:00～16:00

講師：筑波大学人文社会系准教授 山澤学

演題：近世日光山と諸国の東照宮—建築とまつり—

詳細は決定次第、岡山シティミュージアムホームページでお知らせします。

※関連行事は全て予約制です。開会式+オープニングトークは10月7日、講演会は10月28日より岡山シティミュージアムにて予約を受付します。

7. 主な展示資料：

〔御城内御絵図〕、備前国岡山城絵図、岡山城天守閣東面実測古図、東照宮御祭礼記など



## 2021 年度岡山大学公開講座実施報告

演題：岡山藩政を支えた能吏（下役人）たち-情報宝庫の池田家文庫より-

日時：2022 年 3 月 15 日（火）14：00～16：00

場所：中央図書館本館 3 階セミナー室およびオンライン

講師：岡山県立記録資料館特別館長 定兼学 氏

参加者：会場 10 名、オンライン配信 13 名

2021 年度の公開講座では、池田家文庫の豊富な資料から、著名人ではない藩政を支えた下役人の人々の活躍を留方・在方の役人を中心に、講師の定兼先生に詳しく説明していただき、質疑応答も含めてわかりやすく語っていただきました。また、会場近くのロビーに池田家文庫の資料や岡山藩に関する資料の展示も行いました。当日は 23 名の方に参加いただき、「下役人の活動状況がリアルで非常に参考になりました」「古の先人の努力の結晶を池田文庫にみることができました」などの声をいただき、盛会のうちに終了しました。





## 2022 年度岡山大学公開講座実施報告

演題：水害を記録する

日時：2022 年 9 月 9 日（金）14：00～16：00

場所：中央図書館本館 3 階セミナー室およびオンライン

講師：岡山大学特命教授 倉地克直 氏

参加者：会場 11 名、オンライン配信 27 名

2022 年度の公開講座では、災害の記録についての歴史や実例、また記録を繰り返し語り伝えることで防災につながるということについて講師の倉地先生に詳しく説明していただき、質疑応答も含めてわかりやすく語っていただきました。また、会場近くのロビーに日笠家文書の資料パネルや災害の記録に関する資料の展示も行いました。当日は 38 名の方に参加いただき、「後世のために書き残すことの大切さを感じました」「興味のある場所の話があったので、大変興味深かった」などの声をいただき、盛会のうちに終了しました。



## 知好楽セミナー報告

「知好楽セミナー」とは、グローバル化時代を生き抜くための「知」と「心」を育む交流をコンセプトとした中央図書館の独自企画です。各界から多彩な講師をお招きし、ご好評をいただいています。

### ・第28回「No Entry の内側で ―世界遺産の保存科学―」



日時：2022年3月3日（木）15：30～17：00

講師：松井敏也（筑波大学・芸術系・教授）

場所：中央図書館 本館 1F OG Wellness SALON（ラーニングcommons）、

Zoomによるオンライン配信

参加者：会場6名、オンライン配信38名

筑波大学の松井敏也教授にご講演いただきました。

ご講演では、遺産や文化財の価値とは何か、何を残すのか、修復のための調査・研究や修復の方法など、カンボジア・アンコール遺跡群で行われている保存科学研究を中心に、様々なお話をいただきました。講演後は参加者から活発に質問が出され、関心の高さがうかがえました。

ご参加いただいた皆さんからは、「遺跡等の劣化の科学的な分析と対応を知ることができて面白かった」、「アンコールワットの話が聞いて良かった」といった声をいただきました。

## オープンキャンパス報告

附属図書館では、高校生や保護者の方に向けた紹介ムービーを作成し、岡山大学HP内のオープンキャンパス特設ページで公開しました。

動画は下記のリンク先から閲覧可能です。（2023/03/31 公開終了予定）

[https://webcampus.jp/okayama-u/video\\_577.html](https://webcampus.jp/okayama-u/video_577.html)

## 中央図書館ミニ展示報告

中央図書館本館 1F ロビーの展示スペースで、当館資料を紹介する「ミニ展示」を実施しています。ぜひご覧ください。2022年3月～2022年9月は以下のテーマで展示しました。

4月 新学期応援おすすめ本



5月 レポート・論文の書き方



6月 天気・気象特集



7月 クリムトとウィーンの芸術家



8月 感染症との戦い



9月 宇宙特集



### 「岡山大学契約電子ジャーナル一覧」インターフェース変更

2022年3月より、本学が契約している電子ジャーナルを検索する「岡山大学契約電子ジャーナル一覧」のインターフェースが新しくなりました。以前のインターフェースと比較して、A-Z索引の追加、サブジェクト（雑誌を分野別に検索する機能）の項目増加など、より直感的に利用できるよう変更されています。ぜひご活用ください。

<https://www.lib.okayama-u.ac.jp/resources/ejdb.html>



### 学生希望図書申込のWeb受付開始

今年度より、これまで紙の申込用紙で受け付けていた学生希望図書の申込を、Webで受け付けることとなりました。図書館のWebサービスであるマイライブラリから、購入を希望する図書の情報を入力して申し込むことが出来ます。また、岡大蔵書検索(OPAC)から他大学所蔵の図書を検索して、検索した図書の購入を依頼することもでき、その場合、図書の情報が自動で入力されるので、入力の手間が省けます。

申し込みの詳細については以下をご確認ください。

<https://www.lib.okayama-u.ac.jp/support/webrequest.html>



なお、Web申込の運用開始に伴い、申込用紙での受付は廃止となりました。

### オリエンテーション・データベース講習会実施報告

#### ○中央図書館

中央図書館では2022年4月～6月にオリエンテーション等を開催し、延べ782名の方にご参加いただきました。

2022年7月にはZoomなどを使用してオンラインデータベース講習会を開催しました。開催後には岡山大学Moodleを介して記録動画を公開し、2022年9月20日までにオンタイム参加者とオンデマンド配信をあわせて延べ30名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション、図書館ラリー

実施日	対象	参加人数
4月7日～4月18日	新任教員	5
4月6日～6月17日	新入生	431

## ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
4月13日	文献検索ガイダンス (教員の依頼により授業にて実施)	24
5月10日	レポートの書き方講習会 (教員の依頼により授業にて実施)	125
6月1日	レポートの書き方講習会 (教員の依頼により授業にてオンラインで実施)	180

## 講習会

実施日	データベース	参加人数
7月20日	CAS SciFinder-n	2
7月27日	Web of Science、EndNote	15

## ○鹿田分館

鹿田分館では2022年4月～6月にオリエンテーション等を開催し、延べ118名の方にご参加いただきました。

## オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4月27日	保健学科新任教員	1

## 講習会

実施日	講習会名	参加人数
4月26日	医中誌、PubMed	3
5月30日	CINAHL	28
6月10日	文献検索、図書館利用法	6
6月30日	医中誌	80

## ○植物研分館

植物研分館では2022年4月～5月にオリエンテーションを開催し、132名の方にご参加いただきました。

## オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4月5日	環境生命科学研究科新入生	5
5月17日	農学部新入生	127

## 教員からの寄贈図書リスト

次の方から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

<中央図書館>

梶井一暁 [学術研究院教育学域 (教育学)]

無盡山莊嚴院地藏寺所蔵文献目録 (第4冊・第5冊・第6冊・第7冊)  
——2020.10 (BF029/Mu 22)

寶壺山願勝寺所蔵文献目録 ([正]・索引編) ——2012 (BF029/H 82)

臨江山地藏寺所蔵文献目録——2011.3 (BF029/R 45)

臨江山地藏寺所蔵文献目録 (補訂版) ——2011.12 (BF029/R 45)

倉地克直 [名誉教授]

絵図で歩く倉敷——吉備人出版, 2022.2 (L291.7/E 99)

酒井正樹 [名誉教授]

四季を楽しむ: 俳句写真集 = The joy of the four seasons : haiku-photo (続)  
——リーブル出版, 2022.5 (748/Sa 29)

笹尾 登 [異分野基礎科学研究所]

物理実験のためのアナログ回路入門——コロナ社, 2022.3 (549.3/B 97)

姜 克実 [名誉教授]

長城抗戦: 日中檔案比較研究——開源書局出版, 2021.10 (222.074/Ky 1)

田中共子 [学術研究院社会文化科学学域 (文)]

医療安全のためのゲーミングシミュレーション: ヒューマンエラーの流れを体感で学ぶ  
——溪水社, 2022.3 (492.98/H 99)

徳永誓子 [学術研究院社会文化科学学域 (文)]

憑霊信仰と日本中世社会——法藏館, 2022.3 (387/To 41)

田中亮吏 [惑星物質研究所]

Fukushima (Behavior of radionuclides in the environment)  
——Springer, 2022 (539.68/F 84)

土岐将仁 [学術研究院社会文化科学学域 (法)]

不当労働行為法: 判例・命令にみる認定基準——第一法規, 2021.12 (366.14/Y 27)

朴 志善 [学術研究院社会文化科学学域 (法)]

立法前協議の比較政治: 与党内不一致と日韓の制度  
——木鐸社, 2021.10 (312.1/P 16)



**岡山大学出版会からの寄贈図書リスト**

栗林 裕 [学術研究院社会文化科学学域 (文)]

トルコ語話者の言語と文化——岡山大学出版会, 2022.3 (829.57/Ku61)

岡山大学入門講座 2022 テキスト編集委員会

岡山大学入門講座 2022——岡山大学出版会, 2022.3 (F377.9/O47)

## 会議

### ◆学外

- |                    |                                      |           |                                                  |
|--------------------|--------------------------------------|-----------|--------------------------------------------------|
| 2022.4.22          | 第49回国立大学図書館協会中国四国地区協会<br>総会（オンライン会議） | 2022.6.23 | 第69回国立大学図書館協会総会<br>（オンライン会議）                     |
| 2022.4.28<br>～5.23 | 第70回中国四国地区大学図書館協議会総会<br>（オンライン投票）    | 2022.8.3  | 岡山県大学図書館協議会第94回<br>（令和4年度第1回）研修委員会<br>（於：環太平洋大学） |
| 2022.6.13          | 令和4年度岡山県図書館協会総会<br>（於：岡山県立図書館）       | 2022.8.5  | 中国四国地区大学図書館研究集会運営委員会<br>（オンライン会議）                |
| 2022.6.23<br>～7.4  | 岡山県大学図書館協議会令和4年度総会<br>（メール会議）        |           |                                                  |

### ◆学内

- |           |                                   |           |                                      |
|-----------|-----------------------------------|-----------|--------------------------------------|
| 2022.6.2  | 令和4年度第1回岡山大学出版会運営委員会<br>（オンライン会議） | 2022.7.21 | 令和4年度第1回附属図書館運営委員会資源<br>植物科学研究所分館分科会 |
| 2022.6.15 | 令和4年度第1回附属図書館運営委員会<br>（オンライン会議）   | 2022.7.26 | 令和4年度第1回附属図書館運営委員会鹿田<br>分館分科会        |
| 2022.7.19 | 令和4年度第1回出版会編集委員会                  |           |                                      |

## 研修

- |                                                         |                                                    |
|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| ・第20回日本古典籍講習会（2022年度）<br>参加者 久磨 由美子（7.12～15 学外 オンライン研修） | ・大学図書館員のためのIT総合研修<br>参加者 植山 廣紀（8.24～26 学外 オンライン研修） |
|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|

## 編集委員から

ひとむかし前の図書館を思い返してみると、いろいろな制約があったにもかかわらず、それなりに居心地のいい、落ち着いた空間だったなという記憶があります。コロナ禍のため、以前に比べると来館での利用が減っています。最近の図書館は非来館型のサービスにも力を入れておりますが、来館の際には快適な空間を提供できるよう図書館スタッフ一同努力しております。今後も図書館が皆様にとって居心地のいい場所であればと願っております。（A.T.）

---

岡山大学附属図書館報「楳」 No. 75 2022年10月1日  
発行人 奥村小百合 編集 広報ワーキング  
岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1  
ホームページ URL <https://www.lib.okayama-u.ac.jp>

